

ハンドテスト・セミナー2022 参加者アンケートへの回答

	質問・コメント・ご要望	回答
事例検討についてのコメント	3回の流れの中で、それぞれの環境と本人の様子がクリアになり、Th、もしくはクライアント側が環境も含めて変化を感じ取ったタイミングに変化を確かめていけるツールだと再実感しました。ありがとうございました。	ロールシャッハよりも、ダイレクトに臨床像が表れやすいという特徴がHTにはあるように思います。環境の影響を受けやすいことでもあると思うので、その点を踏まえた上で、臨床経過の中でうまく使っていけると良いように思います。
	今回は、同一人物の時間経過による変化を見ることができ、とても興味深かったです。そして今回も、ハンドテストの魅力を大いに感じることができました。投影法の中でも、手軽に活用できて、なおかつ奥深い。自分自身の臨床場面、また改めて利用したいと思いました。	投影法の中でも、手軽に活用できて、なおかつ奥深い、まさにその通りだと思っています。多くの臨床家の方が、使ってくれると嬉しいです。
	この度は参加させて頂きありがとうございました。実施経験のない初心者としての参加でしたが、3回の事例を見せて頂けたことがスコア・継起分析ともに大変勉強になりました。分からないなりにロールシャッハのように読んでいくことで伝わる印象がありました。比較的短時間で実施できるようですが、反応を見ていくとまさにその方の内面が反映されているのが分かりますので、とても使い勝手の良い検査と感じました。「初心者用講座」などが今後開催されることはありますでしょうか。今後またセミナー等に参加させて頂けると嬉しいです。	日本ハンドテスト研究会として、初心者用講座として動画を作成することなど、検討させていただきます。
質問	AMBについてお尋ねします。2回目の反応では全体としてアンビバレントな感じがして、それは質的スコアではカードIV、Xの第一反応に出ているのではないかと思います。つけてはいけませんか？教えていただけたら幸いです。初心者への私にも温かい会だと感じました。質問にも丁寧に答えいただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	この方の反応は、「仲良くしたいけど、うまくいかない」といった具合に、まさに反応そのものがアンビバレントなのです。HTのAMB反応は、その反応のように見えるけど、そうでないようにも見えるといったもので、反応を見ることにためらいがあるといった反応にスコアします。そのため、この方の反応にAMBはスコアしていません。つまり、この方はアンビバレントな反応を出しているのですが、そのこと（アンビバレントな反応を出すこと）にためらいはないからです。ある意味で、意図的にアンビバレントな反応を出しているとも解釈できるかもしれませんね。
今後のご要望等	まなびを深めたいと思っています。事例をお聞きしたいです。	毎月実施しているオンライン研究会にご参加いただくことで、多くの事例に触れることが可能です。ご検討ください。
	対面で参加できる機会が増えればありがたいです。本日の総会で提案されたことなどを受けて、さらに思いました。ありがとうございます。	来年以降、対面での開催も検討していけたらと思います。
	質疑応答の時間が、参加者の方が見えず、発表するタイミングがつかみにくいなと感じたので、資料などを提示していないときは参加者の顔が見える状態の方が発言しやすく感じました。	お互いの顔が見えるよう、今後のオンライン開催時には、気を付けたいと思います。ありがとうございます。
	それぞれのカードが持つ特性やスコアの特性を学びたいです。	基礎講座として、こういうテーマも検討していけたらと思います。
	学ぶことが多いのに楽しすぎて、あっという間に時間がたってしまいました。もう少しゆっくり伺いたかったと思いました。	3回分のプロトコルは、盛りだくさんだったかもしれません。ブレイクアウトルームの実施の仕方など、検討していきたいと思います。
	事例検討は大変興味深く、また、2時間という時間がちょうどよかったと感じています。開催時間を午前・夕方などに寄せて頂くより参加しやすい方もいらっしゃるかもしれません。	開催時間について、今後の参考にさせていただきます。
	臨床心理士のポイント申請ができればよいな、とも思いました。	臨床心理士のポイント申請には、5時間以上の研修が必要なため、午前と午後で2事例のセッションができるようになるなど、もう少し本会が大きくなってから検討することになりそうです。